

2019年度 財務諸表に対する注記

1.継続事業の前提に関する注記

該当なし

2.重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価法

該当なし

(2)棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっている。

(3)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・建物及び建物附属設備は定額法、器具及び備品は定率法

無形固定資産・・・定額法

(4)引当金の計上基準

該当なし

(5)キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当なし

(6)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

3.会計方針の変更

変更なし

4.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

該当なし

5.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

該当なし

6.担保にしている資産

該当なし

7.固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	1,884,103	115,715	1,768,388
器具及び備品	583,780	188,590	395,190
合 計	2,467,883	304,305	2,163,578

8.繰延資産の減価償却累計額及び当期末残高

繰延資産 開業費の前期末残高、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。
償却方法は、定額法で5年均等償却とする。

(単位:円)

科目	前期末残高	減価償却累計額	当期末残高
開業費	35,181,743	7,036,349	28,145,394
合 計	35,181,743	7,036,349	28,145,394

9.債務の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

10.保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く)等の偶発債務

該当なし

11.満期保有目的の債権の内訳及び帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

12.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

13.基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金	100,000,000	0	0	100,000,000
小 計	100,000,000	0	0	100,000,000
代替基金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
合 計	100,000,000	0	0	100,000,000

14.指定正味財産から一般正味財産への振替の内訳

該当なし

15.関連当事者との取引の内容

該当なし

16.キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし